

インプラントの成功率と生存率を高めるため歯科衛生士ができること



月刊「デンタルハイジーン」別冊
流れでわかる!

インプラントのアシスタントワーク・メンテナンス

小宮山彌太郎 監修/山口千緒里 執筆

AB判/128頁 定価 3,630円 (3,300円+税10%)
医歯薬出版 (2020年6月)

評・井上 和 (歯科衛生士)



歯科衛生士待望、インプラントの教科書ともいべき書籍がついに登場。待ってました!の1冊です。インプラントについてこれから学ぶ人にも、もう一度見直したい人にも、進むべき正しい道を示してくれます。

本書のそこかしこに登場する愛らしい“うさちゃん”がインプラント初学者の読者にもわかりやすくやさしく導いてくれます。ベテランの方も発見があることでしょう。概論はもちろん、メンテナンスの方法から、ラストは訪問口腔ケアまで、何一つ欠けるところがない、基本をすべて網羅した必携の書といっても決しておげさではありません。

さらに毎日の感染対策の見直しにも大活躍。世間では「感染」に対する意識が高まっていますが、実際には効果が期待できない薬液や、矛盾だらけの滅菌システムもあるようです。消毒・滅菌から、個人防護具、環境まで、十分なページを割き、その対応について書かれています。感染対策のアドバイザー的な役割を果たすことでしょう。

私が個人的に好きなのは、そぎ落とされた無駄のなさです。インプラント治療ではたくさんの器具や物品を使うので管理が難しく、つい無駄が多くなりがちです。評判を聞いて購入したものの使わなくなった在庫がごそっと置いてあったり、オペ当日、「〇〇がない!」なんてことにならないようにストックしたり、配慮は大切ですが、それにしても在庫多すぎじゃないですか?と思うことがよくあります。過剰な、そして非衛生的な装飾の数々。その無駄にスペースを取られたり、動きが制限されたり、経済的なダメージを受けたりして過不足の線引きを間違っていないですか? その点、この本はとてもスッキリ線引きがされており、効果があり、かつ経済的な方法が選択され、美しく整理されている。見習うところがたくさんあります。

そして、文章には人柄が現れる。この本には、小宮山先生と山口さんの誠実さがにじみ出ています。何もごまかさない、出し惜しみしない。インプラントを学ぶうえで必要なことを余さず見せてくれています。たっぷりと掲載されたわかりやすい写真には、どれだけの手間と配慮があったことでしょう。読者の役に立ちたい、患者さんのためになりたい。そんなお二人の熱い思いが伝わってきます。効率的、機能的、合理的でありながら、お二人の診療に対する真摯な態度が伝わる熱い1冊。お勧めします。